

浜嶋です。

おはようございます。

昨日は、カブラリーに国際委員会のお手伝いで参加しました。

国際ブースの受付を担当し、参加シールを配布しました。このブースの入場者はスカウト数で780人でした。

野口宇宙飛行士からのビデオメッセージ、ジャングルブックのシア・カーンの的あて、迷路のコーナーがあります。

そして、受付の後ろに外国語会話バッジの面接コーナーがありました。「3分間の会話。5年生以上、英会話ができること」と注意書きがついています。

私は、前日から外国語会話バッジをゲットしたいなと考えていました。

最初にやろうかと様子を見ていましたが、カブスカウトたちがどんどんチャレンジしていました。

返事が止まってしまうと「残念でした」と不合格が宣告されます。10名ぐらいが合格しました。

合格すると審査員から拍手され、周囲の人も祝福します。もっと勉強してねと励まされて、推薦状がリーダーに手渡れました。

リーダーも5人ほど挑戦しました。長い協議の後で不合格になった若手リーダーもいて、最後まで悩みました。

終わりごろに4団の審査員、ローさんに相談しました。

「会話が途切れなくてできればいいですよ。わからないことは聞き返せばいいんです。英検2級を持っていたら問題ありません」と励まされ、審査を受けることになりました。

豊中の身内が審査するのは公平でないと判断し、もう一人の間下審査員と2人から審査を受けました。

間下さんの自己紹介のあと、自己紹介を促されました。名前、年齢、役職（団委員長）を言う。団委員長の英語名だけは準備していきました。

そのあとは趣味を聞かれ、ボーイスカウトとマンドリンを弾くことだと説明すると、マンドリンのレパートリーは何かと聞かれ、どんどん話が展開していきます。

他の楽器と一緒に弾くのかというので、ギターやピアノと一緒に演奏する。10年間演奏会をしてきた。コンサートマスターをしていたと説明。

レパートリーは、特にないのですが、話だけなので「タイス」と答えると「タイスの瞑想か」とすぐ理解してもらえました。

ここで、間下さんが、「もう、大丈夫じゃない？ 私は話がわかったわ。何か聞くことがありますか？」とローさんに振りました。

ローさんから旅行は好きかと聞かれ、これも倉敷市に行ってきた。友達と二人旅です。高

知にも行く予定だったが病気のため中止したと返事した。

そして、どうして行けなかったと聞いてくる。ガンのため入院したことを伝えると悲しそうな顔をされた。

ということで、最後の合格者となりました。

植村大阪連盟国際委員長や吉田地区国際委員長から祝福されました。

リーダーの場合は、こんな感じなので、皆さんも挑戦してください。

ほくせつ地区の国際委員会では、吉田委員長が国際委員は全員バッジを取得しようと頑張っています。

2団では、26年に大田康平君。27年の世界ジャンボリーの前に中西大和君、田中駿伍君が英語バッジをゲットしました。

リーダーは、吉田隊長と阪田副長が、英語とフランス語のバッジを取得しています。以前にカブ隊で取得したスカウトがいましたよね。

2団は、「英語を使う団」です。豊中でもバッジの取得者が多い団です。目標は、全員が外国語会話バッジを修得することにしましょうね。

すみません。これを言うために、昨日は頑張りました。でも、情報を提供しましたので、できそうな感じがするでしょ？

スカウトの皆さんは、もっと簡単ですよ。

How old are you?

など、簡単な質問にいくつか答えられたら合格していたようです。

外国語を話したい、今勉強中、これから頑張るぞという気持ちがあれば大丈夫です。

スカウトの皆さん、リーダーの皆さん、積極的にチャレンジしてください。